

Linux / WILLCOM

Sophia systems

netindex



FUJITSU

WILLCOM

株式会社富士通ソフトウェアテクノロジー

ケータイ・ソフト・ アイデア・コンテストのご案内

主催：Interface 編集部，ソフィアシステムズ

協賛：ウィルコム，ネットインデックス，富士通ソフトウェアテクノロジー

1. コンテストの実施要領

Interface 編集部

Interface 編集部は，ソフィアシステムズと共催で「Linux / WILLCOM ケータイ・ソフト・アイデア・コンテスト」を開催します。これは本誌 2006 年 12 月号から掲載が始まった連載記事，「PHS 通信モジュール W-SIM を利用した Linux ベース携帯電話の開発」で紹介された「W-SIM ベースの携帯電話」に関連したコンテストです。

本コンテストでは，ソフィアシステムズが開発した W-SIM ベースの携帯電話のリファレンス・デザイン「WILLCOM SIM STYLE 開発プラットフォーム Sandgate W-SIM Phone」で動作するソフトウェアの企画，およびアプリケーションのアイデアを募集します。コンテストの入賞者（1 位～3 位）には，Sandgate W-SIM Phone と副賞を差し上げます。また，協賛企業のウィルコム，ネットインデックス，富士通ソフトウェアテクノロジーからは特別賞が贈呈されます。

「自分だけのカスタム携帯電話を作りたい」，「パソコン以外の Linux アプリケーションを製作してみたい」，「手を動かしながら，携帯電話のソフトウェア開発を勉強したい」と思われる方は，本コンテストに奮ってご参加ください。

ねらい

OS として Linux を搭載する組み込み機器が増えています。パソコンの Linux 環境は比較的容易に構築できますが，組み込み機器に搭載する Linux アプリケーションの開発環境を構築したり，実際のソフトウェア開発を体験する機会はそう多くないと思います。

そこで，携帯電話のリファレンス・デザイン（開発プラットフォーム）を提供しているソフィアシステムズ，および通信事業者であるウィルコムなど協賛企業 3 社の協力をいただき，携帯電話向け Linux アプリケーションのアイデア・コンテストを実施します。これを機会に，組み込み機器向け Linux アプリケーションの仕様設計やプログラミングにチャレンジしてみませんか？

課題

W-SIM ベースの携帯電話のリファレンス・デザイン

「WILLCOM SIM STYLE 開発プラットフォーム Sandgate W-SIM Phone」で動作するソフトウェアの企画およびアイデアを提出していただきます。企画書の提出は必須です。何が特徴で，どのような方法で実装するのかを明示してください。設計（仕様）書や開発計画書，評価用プログラムなどをいっしょに提出すると，審査時のポイントが上がります。最終的なプログラムを用意する必要はありません。

応募資格

個人，および個人のグループが参加できます（ただし企業の参加は不可）。

応募する作品は，応募者本人が考案したオリジナルのアイデアで，ほかのコンテストなどで入賞したことがないものに限ります。公表済みの作品で応募する場合は，部分的な改良を施すことにより応募できます。フリーウェア，シェアウェアは問いません。応募作品は，

- その著作権が応募者に帰属していること
- 一部に応募者以外が開発・製作したプログラムが含まれる場合は，そのプログラムの著作権者や所有者から正式な利用の許諾を得ていること
- 応募作品が，第三者の著作権や産業財産権，その他の諸権利を侵害しているものでないこと

作品の応募に伴って発生した費用は，すべて応募者の負担となります。

審査基準

審査は，基本的に次の項目を基準に行います。

- 1) アイデアそのもの
 - 2) 発想の独創性，ユニークさ
 - 3) 実現可能性（実装の方針，開発計画，使用アルゴリズムなど）
- 結果的に，提出していただくレポート自体も評価の対象となります。あらかじめ，ご了承ください。

審査は，主催者と協賛企業のエンジニア，および本誌編集者からなる『Interface ケータイ・ソフト・アイデア・コンテスト審査委員会』にて行うこととなります。

参加申し込み，および応募作品の提出方法

参加申し込みを行う旨と，参加者情報（氏名（またはグループ名と参加者の人数，代表者の氏名），住所，年齢，職業，電話

番号、電子メール・アドレス)を記載した電子メールに応募作品(企画書、仕様書、開発計画書など。ドキュメントのフォーマットはPDF形式)を添付して、コンテスト事務局(contestinter@cqpub.co.jp)へお送りください。お申し込みは1電子メール1企画とします(ひとりで複数の企画に応募することは可能)。

スケジュール

応募の締め切りは、2006年12月10日とします。審査結果はInterface 2007年3月号(2007年1月25日発売予定)誌上、およびInterface誌のWebサイトや組み込みネット(<http://www.kumikomi.net/>)にて行う予定です。

なお、優れたアイデアにつきましては、共同開発や商品化などの件で、主催社や協賛企業から応募者の方々へコンタクトさせていただく場合があります。また、優秀なアイデアに基づいて実際にソフトウェアを開発された場合、その製作レポートを本誌で掲載させていただくことがあります。

賞品

第1位~第3位の方、および協賛社特別賞(ウィルコム賞)の方に賞品を贈呈します。第1位~第3位の方には「Sandgate W-SIM Phone」と副賞(デジタル・オーディオ・プレーヤ、ゲーム機、デジタル家電など)を、協賛企業特別賞の方にも同様の副賞を差し上げます。

また、ソフィアシステムズは、Sandgate W-SIM Phoneを台数限定で個人ユーザ向けに販売します。このとき、本コンテストの参加者の中から事前審査を通った方のみ本キットを購入する権利が得られます(価格は10万円を予定)。限定台数を超えた場合は抽選となります。詳細は、審査が終了する2006年12月下旬ごろ、上記の権利取得者に電子メールにてお知らせします。

お問い合わせ

コンテストの内容に関するお問い合わせなどは、コンテスト事務局E-mail: contestinter@cqpub.co.jpへお送りください。Interface誌のWebサイトにも、専用のサポート・ページ(<http://www.cqpub.co.jp/interface/softidea/>)を設置しています。

なお、本コンテストの概要を理解いただくために、本誌2006年12月号、pp.129-133でSandgate W-SIM Phoneを利用したソフトウェア開発の手順を説明しています。また、本誌2006年12月号には連載記事「PHS通信モジュールW-SIMを利用したLinuxベース携帯電話の開発」の第1回「W-SIMを利用した携帯電話の概要」が、本号のpp.158-166には第2回の「PHS携帯電話アプリケーション・ソフトの開発」が掲載されています。コンテストの応募にあたっては、これらの記事も参考にしてください。

Bomb evasion game 企画書

Mr. A

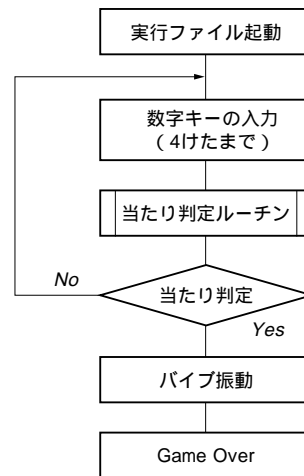
●はじめに

本提案書は、ソフィアシステムズ製のWILLCOM SIM STYLE開発プラットフォーム Sandgate W-SIM Phone(Sandgate WP)上で動作する“運”を試すアプリケーションである。

●概要

端末の追加アプリケーションに保存した本アプリケーションを起動したあと、端末上に任意の4けたの数字を打ちます。その後、決定キーを押すだけのシンプルなお作りとなっています。最高得点を目指します。

●フローチャート



●処理解説

実行ファイルを起動すると、画面の上部に点数と最高点が表示され、数字を入力するようにメッセージを出す。数字入力後、決定キー(方向キーの真ん中)を押す。当たり処理ルーチンで判定の計算および得点計算を行う。当たりの確率は変動させる予定。点数計算も単純な加算処理ではなく、ランダムな数字を掛け合わせることで、予期しない高得点を得ることができる。

当たり判定でNoの場合は、再度数字の入力を行う処理に戻る。Yesの場合は、パイプをONにして「Game Over」となる。

●開発環境

Linuxホスト端末とSandgate WP、および製品添付のGNUのクロス・コンパイラを用いる。

以上

図1 企画書の書式の例

2. 応募企画書のサンプル

応募企画書のサンプルを図1に示します。書式の参考にしてください。処理の実現方法や実装上の工夫などは、できるだけ具体的に書いてください。繰り返しになりますが、設計(仕様)書や開発計画書、評価用プログラムなどを一緒に提出すると、審査時のポイントが上がります。